

募集！

2024年度「四国官庁OPENゼミ」のご案内

～国土交通省四国地方整備局（技術系）～

（事前に予約が必要です）

河川、道路、港湾などの整備を通じて、災害に強く魅力ある四国を創り、未来に引き継ぐ。

技術系国家公務員の仕事をよりイメージができるように四国地方整備局で働く技術系職員や若手職員の声を聞くことができるイベントです。大学1・2年生や高校生の方も対象としています。技術系国家公務員の仕事に興味・関心がある方は、是非ご参加ください！



◆受付期間：令和7年2月3日(月) 9:00 ～ 令和7年2月25日(火) 17:00

※開催日時決定は後日メールにて連絡します。

◆開催日時：令和7年3月6日(木)、3月7日(金)、3月8日(土)

午前の部：10:00～12:00 午後の部：14:00～16:00

※8日(土)の14:00～16:00は、保護者限定(学生の随行可)で開催いたします。

※都合等により期間中に来局が困難な場合は、下記受付にご相談下さい。

※WEB併用で実施します。施設紹介にあたっては、WEBの方は施設内の移動中についてはお待ちいただく時間があります。

◆実施内容：四国地方整備局の仕事紹介、施設案内、技術系職員や若手職員との座談会

◆実施場所：[対面] 高松サンポート合同庁舎北館 会議室

(〒760-8554 香川県高松市サンポート3番33号)

[WEB] WEB会議 (Microsoft Teams)

※高松サポート合同庁舎に入館する際に、身分証の提示が必要となります。
学生証、運転免許証等の顔写真入り身分証を必ずお持ち下さい。
集合場所は、受付完了メールにてお伝えします。



◆持参物：顔写真付きの身分証明書（学生証、運転免許証など）※対面の場合

◆申込み方法：参加を希望される方は、以下の1～6の事項について、下記URL又はQRコードからお申し込み下さい。※本説明会は、事前予約制です。

1. 氏名
2. ふりがな
3. 試験区分
4. 連絡先（携帯番号）
5. 連絡先（メールアドレス）
6. 希望日時と参加方法（第3希望まで入力）
7. 質問事項等

◆申込み先：

【技術系区分】URL：<https://forms.office.com/r/6ZXAptehNj>

二次元コード：



※8日（土）の13：30～16：00は、保護者限定（学生の随行可）で開催いたします。
Formsでの希望日時等選択にある、⑪と⑫が対象です。

◆注意事項：

- 参加希望日の前日が来ても、メールの返信がない又はURLが送付されていない場合には、お手数ですが下記までご連絡ください。
- 受付完了後に、ご自身の都合で参加できなくなった場合には、欠席する旨を必ず電話にてご連絡願います。
- 定員等の都合上、参加日時の変更をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- WEBでの参加時にはカメラとマイクをONにしてご参加ください。
- 本説明会への参加の有無が、その後の選考活動に影響を与えるものではありません。

◆参考情報：

- 大卒程度試験の採用区分
教養、土木、デジタル・電気・電子、機械、建築、農学、農業農村工学、物理、化学、林学
- 高卒程度の採用区分
四国技術、農業土木、林業

◆問い合わせ先：ご不明な点がございましたら、下記まで遠慮なくお問合せ下さい。

国土交通省四国地方整備局 企画部企画課 なんば よこやま 難波、横山

TEL : 087-811-8308 (企画課直通)

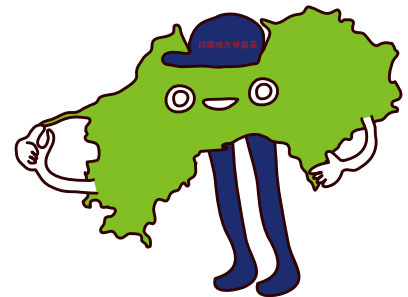
E-mail : skr-kikaku@mlit.go.jp

●過去の実施状況

四国地方整備局の
仕事紹介



施設案内



技術系職員や若手
職員との座談会



【土木区分の男性】

OPENゼミでは職員の方とマンツーマンに近い形で、普段の業務内容や休日の過ごし方など様々なこととお話ししました。就職活動を進めるにあたっての最初のステップとして、とても良い機会になりました。幅広い選択肢が四国地方整備局にはあり、自分自身が成長できる場所だと思いました。



【土木区分の女性】

事業概要などをご紹介いただき、幅広い分野で仕事をすることができると分かり、国家公務員の仕事にさらに興味を持つことができました。またあまり土木分野に詳しくなく不安要素があったのですが、職員の方に勉強しながら仕事を進めていけるという話を聞き安心しました。



【建築区分の女性】

女性職員から育休・産休制度の取得経験について、ベテラン職員から長年の経験についてのお話を聞き、自分が四国地方整備局で働いていくイメージが掴めました。また、同席していた若手職員と話す中で、実際に働いている職員の視点も知ることができました。四国地方整備局についての理解が深まり、参加して良かったと感じます。